

窓口対応



政風会
おかだちかこ
岡田千賀子議員

問 来庁された高齢の方から、窓口のアクリル板設置などで、応対時の職員の声が聞き取りにくい時があると聴いている。聞こえづらい方への対応は。

答 窓口に「耳マーク」を提示し、申し出により「筆談ボード」などを活用して対応している。

問 集音器で相手の声を拾い、球形のイヤホンで耳の後ろに添えるだけで音質がクリアに聞こえやすくなる「軟骨伝導イヤホン」を窓口で活用する考えは。

答 共生社会を目指す行政サービスの一環として、窓口に「老眼鏡」を置いておくように、加齢などにより聞こえづらい人や日常生活で「聞こえ」に不安を感じている方などが、安心して説明を受けたり、相談したりできる窓口の環境整備を行うため、導入します。

水辺環境の保全を

問 町内には12のため池が点在し



軟骨伝導イヤホンを設置し「聞こえ」を助けます

聞こえづらい方への対策を

答弁 軟骨伝導イヤホンを設置する

ている。水生植物などへの保護活動の成果は。

答 平成27年度から増えすぎているアカミミガメの駆除を継続し、希少な水生植物であるオニバスなどが見られるようになった。

問 ため池の日常の水位管理や豪雨時の迅速な対応に向け、「水位計」を設置する考えは。

答 防災重点ため池にICTを活用した「ため池監視システム」の設置を検討します。

人工知能



播磨町民の会
みやけりょう
宮宅良議員

問 本町が目指すAI(人工知能)を活用したDXの在り方は。

答 本町のDX推進チームでAIの活用を検討しており、可能なものから順次導入を進める。

問 AI活用における庁内業務の効率化と、住民福祉の向上に資するのかを評価する、指標や要因は設定しているのか。

答 現在設定していないが、今後生成AIを本格導入するのに合わせ、業務効率化の観点から、行政改革実施計画の取り組み項目として、指標の設定を検討する。

問 生成AIの活用を含む、リールディングDXスクールを推進すべきでは。

答 全国の事例を参考に、校務において教職員が活用できるスキルを身につけ、教育現場においては、段階的に児童生徒の情報活用能力の育成強化が望ましい。

AI活用によるDXの在り方は

答弁 可能なものから順次導入する

フロントヤード改革を

問 総務省による、地方公共団体における住民と行政との接点(フロントヤード)改革のコンセプトに対する、本町の評価は。

答 業務改善だけでなく、住民目線のサービス向上も重要で、「手続きは早く簡単に、生み出した時間で相談、協働はじっくりと深く」するための取り組みである。

問 本町でも応用できるのでは。DX推進チームにおいて、本町の特性に合った取り組みや施策を調査研究していく。



行政改革が進む わがまち

フードロス



チーム新星
おおきたよしこ
大北良子議員

問 地域の居場所として「子ども食堂」などを開催している団体が数件ある。物価高騰の中で食品ロスの削減と、食糧支援の両面からのフードロス対策は、行政が主導で地域と一体となり取り組むことが効果的と考えるが、見解は。

答 環境負荷への配慮の観点からごみ分別の手引きに食品ロス削減について詳しく記載し取り組みを呼び掛けている。事業者が主催するフードドライブについても広報紙への掲載やポスター掲示、公共施設へのチラシ配布、SNSによる配信で広く周知をしている。

問 生活困窮者への食糧支援などはどうしているのか。

答 住民やワーカーズコップから提供された食糧は、福祉会館で配布している。また、コープ播磨のフードドライブも活用している。

不登校支援策は

問 近隣市町で不登校支援金制度

食品ロス削減と食糧支援は

答弁 関係機関と協力している

が導入されているが本町では、町内での居場所対応を最優先としており導入の予定はない。

公共交通は

問 誰もが町内を気軽に行き来できる公共交通の計画を策定することは長期で計画しているのか。

答 地域公共交通計画では、施策の一つに新たな交通システムの導入を掲げていることから具体的な計画について幅広い可能性を考慮し検討を進めている。

無くそう! 食品ロス

私たちができる5つのこと



フードロスに取り組もう

対応策は



無所属
たけうちもとこ
竹内基就議員

サイバー攻撃への対策は

答弁 様々な対策で備えている

問 令和6年6月、角川グループにサイバー攻撃があり大きな被害が出た。近年、サイバー攻撃は巧妙化・多様化している。自治体が攻撃対象となることもあり、一度攻撃を受けると住民生活への悪影響は計り知れないが本町の対策は。

答 通信状況は常にモニタリングしてある。マイナンバー系と総合行政ネットワーク系、インターネット系を三層分離し物理的に隔離しているほか、県のセキュリティクラウドサービスやウイルス対策ソフト添付ファイルの無害化ソフトなど、複数の対策を組み合わせて実施している。

巡り、その是非が大きな議論を呼ぶことも珍しくない。同条例が創作物の内容にも踏み込み、表現や言論を委縮させる恐れはないのか。

答 令和6年8月5日に第一回検討委員会が開かれ、現在は住民の意識調査を実施している。表現の自由の担保については、意識調査およびパブリックコメントを踏まえ、検討委員会でご意見を伺いながら、条例案を検討していきたいと考えている。

表現の自由は

答弁 広く意見を聞く

問 人権尊重条例の制定へ向けた動きは大変素晴らしい事であるが、近年は創作物や広告などの表現を



サイバー攻撃への備え